

2009年7月2日

会員各位

日本ファイナンス学会  
「研究観望会」幹事 本多 俊毅

### 第17回研究観望会開催のお知らせ

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、日本ファイナンス学会第17回研究観望会を下記の要領により開催することといたしました。今回は「不動産金融」をテーマに、裏面要旨のとおり、たいへん興味深い報告がなされる予定ですので、ふるってご参加たまわりますようお願い申し上げます。ご出欠につき、同封の申込書（葉書/Fax）にて7月21日（火）までにご返事いただければ幸いです。ホームページからのお申込も可能ですのでご利用下さい(<http://www.nfa-net.jp>)。なお、参加者多数の場合には、先着順とさせていただきます。

また、研究観望会では、別紙要領のとおり、報告者を募集しております。自薦他薦ふるってご応募くださいますようお願い申し上げます。とりいそぎ、ご案内する次第です。

敬 具

#### 記

テーマ：「不動産金融」

報告者：吉田 二郎 氏（東京大学大学院経済学研究科）

日 時：2009年7月27日（月）午後6時30分より

会 場：（社）金融財政事情研究会 2F第1会議室（下図参照）

東京都新宿区南元町19（〒160-8519）Tel：03(3354)2377

JR「信濃町」徒歩5分



研究観望会のお問合せ先：

幹事 本多 俊毅

（一橋大学国際企業戦略研究科助教授）

Tel：03(4212)3100

E-mail：thonda@ics.hit-u.ac.jp

申込先：日本ファイナンス学会事務局

（阿部・小林(奈)）

東京都新宿区南元町19（〒160-8519）

Tel：03(3354)2377 Fax：03(3359)7947

E-mail：honbu@nfa-net.jp

URL：http://www.nfa-net.jp

以上

## 日本ファイナンス学会 第17回研究観望会

東京大学大学院経済学研究科  
講師 吉田 二郎

### 報告の概要：

不動産金融は、国富の約3分の2を占める経済の主要資産である不動産を対象にし、不動産に関する様々な経済・社会的問題のなかでも特に資産価格、資金調達、設備投資といった金融上の問題にフォーカスして経済分析を行う。不動産の立地や公共政策など金融以外の問題に関する経済的分析は、都市・地域経済学や公共経済学など異なる分野と位置付けられるが、それらの分野と不動産金融の問題にはオーバーラップする部分が多くあり、重複分野での研究成果も多く生み出されている。

したがって、不動産金融をレビューしようとするれば、一般的な金融経済学との関連だけでなく、都市・地域経済や公共経済との関連も含める必要があり、対象は極めて広範なものとなる。今回の報告では、関連領域の広がりがある程度認識してもらえるようにテーマを選定する。

まず、不動産の資産としての特性を総括したうえで、不動産価格の都市内構造、長期・短期の均衡モデル、および不動産の空間需要と供給の特性をみることで、不動産市場のマクロ構造を整理する。次に、マクロの不動産価格の特性と計測方法についてまとめた後、よりミクロの価格決定を理解するために、実物資産市場のマイクロ・ストラクチャーに関する研究成果を通して流動性の問題に光を当てる。そのあとで、不動産投資の流動性を飛躍的に高めた証券化に関して、理論モデルを概観する。最後に、不動産とマクロ経済とのかかわりとして、家計の資産ポートフォリオ選択と不動産を含めた資産価格理論について最新の研究のレビューを行う。

## 日本ファイナンス学会「研究観望会」

### 報告者募集要領

研究観望会運営委員会

代表幹事 本多 俊毅

研究観望会は、世界のファイナンス研究の最新動向をテーマ別に展望するもので、各トピックに関する最新の成果をサーベイした報告を通じて、会員各位の知識・情報の整理に役立てるとともに、会員の研究活動の促進に寄与することを目的としたものです。この目的にそった報告者を下記要領にて募集いたしますので、ふるってご応募くださいますようお願い申し上げます。なお、報告内容については、幅広く、理論、方法論、実証研究、制度の現状と展望等々にいたるまで歓迎いたします。

とりわけ、若手研究者を歓迎し、研究奨励的な運営を企図しております。必要に応じた交通費、宿泊費を支給するとともに、報告に対する研究奨励金も支給いたします。

ご応募いただきますと、研究観望会運営委員会が合議のうえ諾否を決め、結果を応募者個人に直接お知らせいたします。

ご応募にあたっては、研究観望会の円滑な運営のため、以下の必要書類を各3部ご用意のうえ、日本ファイナンス学会事務局までお送りください。

- (1) 報告論文のテーマと章建ての計画
- (2) 各章各節の詳細な要旨
- (3) 報告分野に関する参考文献表
- (4) 報告者の略歴とこれまでの研究成果
- (5) 報告分野と関連した報告者の論文等著作物がある場合は、そのコピー。

なお、完成論文がある場合は(1)～(3)に代替できます。

#### 応募先／問合せ先

日本ファイナンス学会 研究観望会

Tel:03(3354)2377 Fax:03(3359)7947

E-mail:honbu@nfa-net.jp

〒160-8519 東京都新宿区南元町 19

(社)金融財政事情研究会 内